

## (2)黒潮町立佐賀小学校の取組

夕部 由美 (黒潮町立佐賀小学校 教諭)

5-8.低学年・中学年・高学年ごとに重点目標を決め、具体的な活動に取り組んできました。その取り組みの一つとして講師を招聘し、防災教育の研究授業を行いました。

10-11.授業の後には校内研で授業の反省を行います。グループに分かれ各自が良かった点や改善点などを付箋に書き、話し合われたことを代表者が発表していく取り組みをしてきました。昨年度は高知県の実践的防災教育推進事業の指定を受けておりましたので、全学年が防災教育の授業を研究発表会で公開しました。

13.津波から迅速に避難する判断力を養おうと避難の約束として、佐賀小学校独自の合言葉も考えました。「おとしだま」は子どもたちにも馴染みの言葉なのですぐに覚えめました。

14-15.避難訓練も毎月行っております。初期行動はだんご虫のポーズ、自分の身を守るということは徹底しておこなっております。揺れがおさまったら素早く避難場所へ各自が避難をします。

16.休み時間に抜き打ちで避難訓練をしたときの様子です。校庭で遊んでいた子どもたちは、頭を守るものが何もないところでもだんご虫のポーズで待機し、揺れがおさまったらすぐに次の行動ができていました。

17.より実践的な登下校中の避難訓練も行いたいと現在企画中です。

19-24.防災キャラクターは案内板として活用したり、保護者に呼びかけて着ぐるみで運動会の競技にも参加してもらいました。キャラクターを活用しての啓発活動も行いました。

25.避難の約束「おとしだま」も各教室はもちろん廊下などにも掲示し、いつも目に触れられるようにしています。

26-27.児童会の募金活動の掲示です。今年は広島土砂災害のことを児童会で調べ、全校に呼びかけて広島の被災地へ募金を届けよう取り組みました。

33.全員の防災標語は防災参観日に合わせて、校内に掲示しています。

34-35.子どもたちの防災意識を高めるために子どもたちと一緒に防災ソングをつくっていききました。11月の音楽祭



○ 防災教育の目標

主体的に行動し、自分の命は自分で守ることのできる児童の育成

低学年	中学年	高学年
災害が発生したときに、災害に応じて、自ら適切な行動ができる。	災害のときに起こる様々な危険について知り、自ら適切な行動ができる。	災害が発生したときに、自ら適切な行動ができるとともに、他の人々の安全にも気配りができる。

4

○ 佐賀小 避難時の約束

合言葉は **おとしだま**

お…おさない  
と…とまらない  
し…しゃべらない  
だ…たよらない  
ま…またない

11

○ 休み時間の避難訓練でも

14

○ 色々な場を想定しての避難訓練

- 1 春の遠足の自由時間中に
- 2 掃除の時間や休み時間
- 3 授業中
- 4 保・小・中・地域合同避難訓練
- 5 登下校中(現在企画中)

15

で3.4年生が完成した防災ソングを発表しました。

38.子どもたちの変容についてです。いざという時の心構えとして、3月の深夜に起きた震度5の地震では、「落ち着いて避難準備ができた」という低学年児童や、「素早く避難場所に逃げた」という高学年児童など、防災教育に取り組んだ成果とみられる声が聞かれました。また、避難訓練の態度にも変化が見られ、抜き打ちで縦割り班の掃除の時間に避難訓練を行ったときには、上級生が下級生に声掛けをして迅速に避難をする姿も見られました。子どもたちだけでなく、私たち教職員も防災学習や避難訓練に対する意識が大きく変わったように思います。南海地震が来ることを現実的に受け止め、自分の命を守るために主体的に判断し、行動できる児童を育てたい。という強い思いで、防災学習を創意工夫して取り組んでいます。

39.保護者への啓発、保護者との協働も課題としてあげられています。学校での学びを家庭へ持ち帰って、家族と話し合うことも進めていきたいと考えます。家族防災会議や防災参観日も実施しました。防災の授業を参観し、一緒に避難訓練をしたり、講演会で話を聞く機会を持つ中で、保護者の防災に対する意識も高まってきたように思います。先日収穫祭のときに、保護者の方から「来年は炊き出し訓練もしたらいいね」という意見がでてきました。保護者の方からの提案に、防災学習への関心の高まりを感じました。また、地域の方々との合同避難訓練を行いました。地域の方が「避難場所に上がる道がもう一つある」と教えてくれて、下山するときにはその道を下りていきました。保護者や地域の人たちとのつながりも大事にしていきたいと思えます。

40-42.高知県の防災標語コンクールに全校で応募していたところ、地元のテレビ局の取材をうけ、テレビで放送されました。これまでの本校の取り組みは、今年度の防災甲子園で教科アイデア賞をいただきました。たいへん励みとなりました。これからも、自分の命は自分で守ることのできる児童の育成を目指して、防災教育に取り組んでいきたいと思えます。

